

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	・説明文の学習では、段落ごとの要点をつかんで読むことができる。また、物語文の学習では、叙述を基にして登場人物の性格や気持ちを読み取ったり、想像したりして考えを深めることができる。 ・漢字の音と訓の読み方の違いや言葉の意味への理解が正しくできるようにしていく必要がある。	・単元ごとの学習課題を明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにする。児童同士で考えを共有する時間を今後も取り入れ、視野を広げたり、思考を深めたりできるよう促す。 ・国語辞典や復習プリント・タブレット等を活用し、熟語や例文でセットにして覚えられるように工夫する。	
社会	・学校のまわりや文京区の様子について興味関心をもって学習に取り組んでいる。実際に見て確かめたり、地図帳やタブレットを活用したりしながら学習をすすめている。 ・地図記号や方位の定着、資料の読み取りに個人差が大きい。	・事前に視点や資料を焦点化して提示することで、児童が目的を意識して主体的に取り組めるよう支援していく。 ・地図記号カードを用いて、ゲーム性のある活動や方位の体感学習を取り入れ、体験的に身に付けられるように指導する。学習を進めながら、既習事項を都度、復習する機会を設け、学習内容の定着を図る。	
算数	・コースによって習熟度に違いはあるが、どの児童も学習にすすんで取り組むことができる。データの整理や長さを測る活動では、積極的に取り組む姿が見られる。 ・計算のしくみや立式はできているが、自分の考えを書いたり、表現したりすることが難しい児童がいる。	・身近な内容を取り上げ、日常生活と関連付けながら、問題を設定し、算数的な考え方を広げる。ペア学習を多く取り入れる。また、個々の学習のペースに合わせて、多様な考え方で問題を解くように指導する。 ・技能的な計算や作図などでも、なぜその式や図になるのかについて教師から問いかけることで、考えを表現することができるように促す。苦手な児童でも短い言葉や図で考えた意図を表現できるように支援する。	
理科	・観察や実験に関する学習意欲が高く、すすんで活動する児童が多い。 ・観察や実験の目的をつかむ、結果から考察する活動に慣れておらず、経験が少ない。	・植物や昆虫等を様々な視点で観察したり、予想を立てて実験したりすることができるようになってきている。気付きや疑問を大切にしながらすすめられるよう引き続き支援する。 ・学級全体で予想や仮説の立て方を共有したり、理由や考えの書き方を確認したりしながら丁寧にすすめ、自分の考えがもてるようにする。	
音楽	・楽しみながら自然で無理のない歌声で歌うことができている。曲の特徴から少しずつ	・曲の特徴を意識して聴き、感じ取ったことや想像したことを伝え合い、実際に歌う学習を繰り返して行ってい	

	表現の工夫をしようという思いを持ち始めている。 ・リコーダーへの興味関心をもち、音色や奏法に親しんでいるが、新しい音の学習が進むにつれて、難しく感じる児童も出てくるため、正しい奏法の定着の様子を個別に把握しながら指導を続ける必要がある。	く。歌唱表現を工夫する楽しさを経験しながら楽しんで表現を工夫できるように促していく。 ・毎時間常時活動で基本的な運指の練習を行い、ちょうどよい息遣いや姿勢を保持して吹けるようにする。自分で音を選び自由に表現できるリレーなど、即興的に表現するなど楽しい活動を交えながら、リコーダーの定着を図っていく。	
図画工作	・パステル、絵の具を隙間なく丁寧に塗ることができる。 ・キャラクターなどの既存作品の模倣になってしまうことがある。	・鑑賞等を通して丁寧に仕上げた作品の良さに気付かせ、丁寧に仕上げる姿勢を継続できるようにする。 ・著作権などの知識を学習することで、オリジナリティを意識して表現できるようにする。模倣を制限するのではなく、課題に対して適した表現方法を選択できるようにする。	
体育	・初めて経験する活動にも意欲的に挑戦しようとしている。 ・ボールの投げ方や用具の扱い方に苦手意識のある児童がいる。	・どの児童にも安心して活動できる場を設定したり、スモールステップでの課題を設けたりすることで、様々な運動にすすんで取り組むことができるようにする。 ・学級全体で使い方や、やり方を確認した後、必要に応じて個別に支援する。	
道徳	・教材文を通して自分自身と向き合ったり、自分事として捉えて考えたりすることができるようになっていく。 ・友達との交流では、多様な価値観と向き合えるよう支援していく必要がある。	・ワークシートの活用やペア・グループでの話し合い活動を通して、自分の考えをもったり、自分に向き合ったりする時間を設定し、自分事として考えさせていく。 ・様々な友達と交流することはできるようになってきているが、手段で終わってしまっていることが多い。多様な考えにも目を向け、互いの考えが共有できるよう声掛けをする。	
総合	・町探検の経験や他教科での学びを生かして、調べ学習を進めた。地域のすてきを見つけ、グループごとに発表の仕方を工夫してワールドオリエンテーリングを行った。どの児童も協働しながら積極的に取り組めた。 ・積極的に情報収集する姿勢は見られたが、集めた情報を整理、分析する力の個人差が大きい。	・「課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現」のサイクルで見通しをもって探究し、学習をすすめることができるようにする。また、社会科や国語など他教科と関連付け、多角的な視点で詳しく調べまとめ、発信していく力を身に付けさせる。 ・目的意識をもって情報収集し、必要な情報を取捨選択できるようグループで相談しながら取り組んだり、助言をしたりする。	
外国	・積極的に友達やALT とのコミュニケーション	・ALT の話している内容を、必要に応じて担任が説明を	

語活動	ンを図っている児童が多く見られた。 ・英語で自分の思いを表現することや、ALT の英語を理解することが難しい様子の児童もいた。	加えることで、活動に自ら参加しようとする姿が見られた。今後も継続する。 ・ALT と担任が指導内容を確認し、個別に対応が必要な児童の情報交換を行うことで全員がスムーズに参加できるようにする。	
-----	---	---	--